

奥能登公立 4 病院機能強化の大きな方向性

約 2 年にわたる関係者との検討の結果、

- ・**検討会**での議論がまとまったこと
- ・**知事と 4 市町の首長と合意**したこと

さらに県議会での議論も踏まえて、**奥能登の医療提供体制の「大きな方向性」**を決定

【これまでの経緯】

- ・R5.12.27 奥能登 4 首長による**知事要望**
- ・R6. 8. 8 第 1 回奥能登公立 4 病院
機能強化**検討会**
- ・R7. 2.19 第 2 回 //
- ・R7. 8. 7 第 3 回 //
- ・R7.11.13 **知事**と奥能登 **4 首長**との**懇談**
- ・R7.11.20 第 4 回 //



1. 新病院の医療機能の概要

- 救急機能を集約化し「**断らない救急**」体制を構築
- **入院機能**（急性期・回復期）を**集約化**
- 大学病院等と連携し、幅広い診療能力を有する**総合診療医**を養成・配置

- ✓ **医療従事者の確保**について、**新たな施策**を検討
- ✓ **分娩**の実施については、基本構想策定の中で**引き続き議論**

2. サテライト医療機関の医療機能の概要

- 既存の4病院はサテライトとして残し、地域住民の**日常的な医療**への**アクセス確保**
- 新病院とサテライトを**一体的に運営**（シームレスな連携体制）
 - ・ 電子カルテの共通化による患者情報一元化など**医療DX**の推進や総合診療医の巡回など人的交流促進

- ✓ 4市町で**サテライトの詳細**（入院機能、介護医療院の必要性など）の**検討**

3. 新病院・サテライト医療機関の運営形態

県・4市町で**一部事務組合**を設立し、**運営体制強化**を図る

4. 新病院のアクセスの確保

自家用車以外の交通手段の確保は**必要不可欠**

✓ 各市街地～新病院間の**交通手段のあり方**について**検討**

5. 開院に向けたスケジュール（目安）

①基本構想、②基本計画、③基本設計、④実施設計、⑤建設工事 ⇒ 「開院」まで、**概ね6～7年間**を要する想定